

2022年度 留学奨学金（修士）募集要項

1. 概要：

この奨学金は、奨学金開始時までには最初の学位（Bachelor、Diplom等）を取得した成績優秀な学部卒業者が、ドイツの国公立ないしは国から認可された大学において、修士号取得を目指す、または日本の修士課程に在籍中に1年間留学するためのものである。なお、音楽・造形芸術・舞台芸術・建築分野などの専攻者は「芸術奨学金」に応募すること。

2. 給付期間：

1) ドイツで修士号取得を目指す場合

- 10～24ヶ月
- 奨学金は原則的に留学先の通常修業年数の期間（最長24カ月）支給される。2年間の課程の場合、1年修了時に通常修業年数内で学位取得が可能であるか、それまでの学業成績に基づいて審査され、残りの給付期間の延長が決定する
- 応募の時点で既にドイツの大学で2年間の課程の1年目に属している者は、2学年目分のみの給付となる。この場合、奨学金の延長は認められない

2) 日本の修士課程に所属しながらドイツの修士課程に留学する場合（学位は日本で取得）

- 原則として1年、延長は認められない

※1)と2)いずれの場合も原則として支給開始は2022年10月1日から。これより以前に、DAAD負担による現地での語学研修が義務付けられる場合もある

3. 給付内容：

- 1) 月額861ユーロ
- 2) 健康・傷害・個人賠償責任保険料
- 3) 旅費補助（ただし他の機関から支払われない場合に限る）
- 4) 研究補助費（1回限り）
- 5) 場合によっては家賃補助、家族手当、障害・疾患手当なども支給されることもある
- 6) ドイツ語学習補助（詳細は奨学金証書にて通知）
 - 奨学金の合格証を受領した段階から、オンラインドイツ語コースへ無料参加が可能
 - 奨学金開始前に、2、4、または6ヶ月間の現地での語学研修が付与されることがある。語学研修への参加と期間は奨学生のドイツ語能力と研究計画に応じて個別に決定される。留学先の課程での使用言語がドイツ語の場合、付与されたドイツ語研修への参加は義務となる（新型コロナウイルスの影響により、オンラインでの開催となる可能性もある）
 - 留学期間中に奨学生が自ら進んでドイツ語コースに参加する場合、その費用を補助
 - 奨学金合格から支給終了まで、日本またはドイツでのTestDaFまたはDSHの受験料を1回に限りDAADが負担する

4. 応募資格：

- 1) 応募の時点で最終の卒業、修了もしくは学位取得時より6年を超えていないこと
- 2) 応募の時点でドイツへの滞在が15ヶ月以下であること
- 3) ドイツの希望留学先からの入学許可書を遅くとも奨学金支給開始時までには、提出ができること（奨学金応募時の提出は義務ではない）。入学許可が出なかった場合、奨学金は授与されない。大学への出願は各自の責任で行うこと
- 4) 留学先の課程でドイツ以外の国へのさらなる留学やインターンが組み込まれている場合、以下の条件を満たすこと：
 - 留学目的の達成のため不可欠な滞在であること
 - 国外への滞在期間が奨学金支給期間の4分の1を超えないこと。これを超える滞在は奨学金支給の対象とならない
 - 滞在地が日本でないこと
- 5) 最終的に日本での修士号取得を目指す場合、ドイツで履修した授業が日本の大学で認められ、且つ、留学により修士課程の在学制限年数を超えないこと

5. 言語能力

- 1) ドイツの大学の授業で使用される言語は原則的にドイツ語、または英語である。大学への出願時には、大学が求める条件を満たす語学能力証明書を提出しなければならない。求められる言語とそのレベルについては、各大学のホームページを確認すること
- 2) 求められる語学能力は応募者の目的と専門分野によっても異なる。一般的に人文・社会科学・法律専攻は少なくとも十分なドイツ語能力が必要とされることが多い。自然科学・工学専攻で、受け入れ研究機関において英語の使用が可能な場合、すぐれた英語能力の証明があれば良いことが多い
- 3) 奨学金応募時には明確な言語レベルの規定はないが、留学先の希望大学が求めるレベルに達していることが望ましい

6. 応募方法：

応募申請は DAAD ポータル (<https://www.mydaad.de/en/>) より行う。オンライン申請書を作成し、記入後にその他の書類をアップロードして応募を送信する。その後、応募書類一覧 (Bewerbungszusammenfassung/ Application Summary) がポータル上に送られて来るので、これを和文申請書、推薦状と一緒に DAAD 東京事務所へに郵送すること。和文申請書以外の書類はすべてドイツ語または英語で作成すること。(※この留学奨学金の応募時のみ、今年より新バージョンの Web ポータルが使用される)

DAAD ポータル上での提出書類（ドイツ語または英語）

- 1) オンライン申請書：DAAD ポータルの Web 上から各項目を入力して作成する
- 2) 履歴書（書式自由、3 ページ以内）：空白の時期がないよう詳しく記載する
- 3) 動機文（書式自由、3 ページ以内）：留学の理由・計画等を詳しく記載する
- 4) ドイツの大学の入学許可書：
奨学金応募時点で提出が難しい場合は、奨学金支給開始までに提出すること
- 5) 志望校報告書（ドイツで修士号取得の場合のみ）：[所定用紙](#)は DAAD 東京事務所の HP よりダウンロード可
- 6) ドイツでの取得単位が日本の大学で認可されることの証明書（日本の修士課程に所属しながらの留学の場合のみ。書式自由）
- 7) 大学の全課程（学部、修士など、在学中の課程も含む）の学業成績証明書
- 8) 大学の全課程（学部、修士など）の卒業・修了（見込み）または在学証明書
- 9) 語学能力証明書（留学先の課程での使用言語に応じて提出）：

- ・ドイツ語の場合：Goethe-Zertifikat、Test-DaF、DSH、または [DAAD 所定用紙](#) など。DAAD 所定用紙の場合、大学のドイツ語教師か認可された語学学校の教師に記入をしてもらうこと
 - ・英語の場合：TOEFL、IELTS など
 - ・原則として取得から2年以内であること。独語・英語両方提出も可
- ※コロナウイルスの影響で必要な語学証明書の提出が難しい場合（例：試験の中止や延期、そしてオンラインでの受験も困難な場合）、その提出が難しい理由と併せて、留学に必要な言語能力の[欧州言語共通参照枠](#)に基づく自己評価を代わりに提出することも可能。但し、正式な語学証明書は入手出来次第追って提出すること。なお、言語能力の自己評価は、例えば次のようなオンラインテストで行うことができる。ドイツ語（[Goethe-Institut](#)、[Deutsche Welle](#)）、英語（[British Council](#)）

10) その他の書類（ある場合のみ）：インターンシップや就労証明書など

郵送提出書類

- 1) 和文申請書 1通（[所定用紙](#)、DAAD 東京事務所の HP からダウンロード可）
- 2) 応募書類一覧（Bewerbungszusammenfassung/ Application Summary） 1部：DAAD のポータルで書類提出後、応募が受理されると、確認の通知と共に応募書類の一覧（Bewerbungszusammenfassung/ Application Summary）が送られてくる。これを1部印刷したもの。応募締切間近は書類一覧が送られてくるまでに数時間かかることもあるので注意すること
- 3) 推薦状 1通（ドイツ語または英語。書式はDAADポータル上で取得）：開封無効。推薦者に封筒に入れてもらい、そのままその他の郵送書類に添えて提出する。学力および人物について、応募者をよく知っている大学教員（専門の教師）1名に書いてもらう。推薦者のサインは基本的には手書きであること。（※コロナウイルスの影響で推薦状の入手が困難な場合、今年に限っては推薦状なしの応募も受け付けるが、提出された場合は評価対象となるので、できる限り提出することを推奨する）

4) 郵送書類提出先：

ドイツ学術交流会（DAAD）東京事務所（郵送、宅配便で送付）
〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-56 ドイツ文化会館 1F
Tel：(03) 3582-5962

応募期限

（DAAD ポータルへの応募）2021年10月20日
（郵送書類の提出期限）2021年10月21日 ※当日消印有効

7. 選考：

審査は専門家による独立した選考委員会によって行われる

- 1) 一次選考：書類選考によって行う。結果は11月中旬にDAADから通知される
- 2) 二次選考：一次選考に合格した者に対して、12月上旬頃に面接試験（独語または英語）を行う。面接の日時等の詳細は一次選考の結果と併せて伝えられる
- 3) 最終的な審査結果は翌年4月頃までにDAADポータル上で通知される

注 意：

- ① 特に記述の無い場合、証明書類はすべてコピーで良い。合格者には最終決定後これらの証明書の原本提出を個別に依頼することがある。
- ② 開封無効の成績証明書等も開封してポータルからアップロードする。
- ③ 提出書類のサイズはA4で統一すること。**両面印刷は禁止。**
- ④ 提出書類に不備があった場合、いかなる理由であっても応募は無効となる。
- ⑤ DAADのポータルは応募締め切り日の24時（中央ヨーロッパ標準時 (MEZ)）に閉鎖される。
- ⑥ 締め切り日後の書類提出はいかなる理由があっても受け付けない。
- ⑦ 応募書類は返却されない。また、応募者のデータは応募手続きの処理に必要な限り、ドイツ連邦データ保護法とEU一般データ保護規則に則りDAADに保管される。
- ⑧ 書類については、DAAD東京事務所HPの「[よくある質問](#)」のコーナーも参照すること。
- ⑨ 書類の東京事務所への持ち込みは**一切受け付けない**。
- ⑩ 本募集要項はドイツ語・英語の原文を基にしたもので、一部内容を省略・補足している。必要があれば原文を参照すること。